

第32回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 総務省消防庁・全国消防長会

助成 日本財団

EXCITING RESCUE

—エキサイティング・レスキュー—

2003 IN SENDAI



2003年8月28日

会場

仙台市泉総合運動場

「杜の都」仙台。一六〇一年伊達政宗公によって開かれた城下町を礎とし、東北地方における経済、行政の中枢として発展してきた。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靭な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和四七年から日本財団の助成を受けて毎年開催しているものである。

東北地区支部で初の開催となるこの大会を主管いただいた仙台市消防局では、大会の企画・運営にあたり宮城大学事業構想学部の学生にもボランティアとして参画していただき、斬新な発想で企画提案がなされており、会場に隣接するシェルコムせんだいでは、防災資器材展示や消防体験コーナーも設けられた。

さて、大会当日は今年の夏を象徴するかのような肌寒さで、時折小雨が降るといったコンディションであつたが、早朝より全国各地から応援に駆けつけた消防関係者や多数の地元市民など約一一、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、このような悪天候にもかかわらず、開会前から熱気と興奮に包まれ、隊員たちが繰り広げる熱き大会が始まるのを今か今かと待ち構えていた。

午前九時、仙台市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九三九名の精鋭たちが堂々とした入場行進を行い、大会副会長である山内仙台市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式では、国旗・大会旗の掲揚後、消防使命達成のため殉職された消防職員の御靈に対して黙とうを捧げ、さらに、本年五月にアルジエリア民主人民共和国で発生した地震災害に際し、国際消防救助隊として被災地に赴いた隊員を代表して仙台市消防局の菅原司令に会長から表彰状が授与された。続いて大会会長である白谷(財)全

国消防協会会长、藤井仙台市長のあいさつ、浅野宮城県知事(代理・柿崎副知事)、石井消防庁長官(代理・吉崎救急救助課長)、徳田(財)日本消防協会会长(代理・杉原理

事長)の祝辞と続き、多数の方々からの祝電を代表して片山総務大臣からの祝電が披露された。さらに、仙台市立野村小学校六年生の佐藤志帆さんから「応援の言葉」が述べられた後、大会審判長の元吉北九州市消防局長による審判長指示がなされ、出場隊員を代表して仙台市消防局の阿部司令補が力強く隊員宣誓を行った。

開会式の後、陸上会場において、すすめの幼稚園、松十の皆さんによる「仙台すすめ踊り」が披露された。よいよ訓練の開始である。全国から選りすぐられた精鋭たちは陸上・水上それぞれの会場に分かれ、救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露していく。張りつめる緊張、俊敏でしなやかな一糸乱れぬ動き、強靭な体力。観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り響いた。

会場周辺では、隊員たちが健闘を讃え合う姿が見られ、全国救助隊員の友好の輪は一層大きなものとなつた。すべての訓練が終了し、未だ興奮がさめやらぬ中、仙台市消防音楽隊とグリーン・ジュエルズSENDAIによる軽快な音楽と、息の合った華麗な特別演技が披露されるべく、会場内からは、大きな拍手が沸き起つた。

閉会式では、白谷大会会長から「小雨の降るあいにくの天気であったが、大会に支障を来すことなく、また、十分な安全管理の下、参加隊員も怪我なく無事に終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。東北地区支部で初の開催となつた本大会は、陸上の部、水上の部で日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、充分な成果をあげられたことと思う。これを一つの契機とし、今後もより一層救助技術の鍛錬・向上に努め地域住民の負託に応えられるよう希望する」との講評があつた。国旗降納に続いて、大会旗が山内仙台市消防局長から次期開催地の長手神戸市消防局長に引き継がれ、長手神戸市消防局長の次期開催地挨拶の後、山内大会副会長が閉会を宣言すると、大空に「来年はひょうごで会いましょう」とアドバルーンが上がり、来年の再会を誓い、第三回全国消防救助技術大会の幕は静かに閉じた。

仙台市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。

あ い さ つ



(財) 全国消防協会

会長 白谷祐二



あいさつ
仙台市長
藤井 黎



応援の言葉
仙台市立野村小学校 6年生
佐藤 志帆

佐藤 志帆



応援の言葉
仙台市立野村小学校 6年生
佐藤 志帆

佐藤 志帆

本日、ここ杜の都仙台市におきまして、第三回全国消防救助技術大会を開催いたしましたところ、消防庁長官殿、宮城県知事殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開会できることを厚くお礼申し上げます。

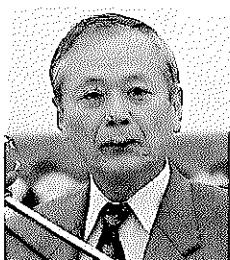
さて、この大会は全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識と技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靭な体力、精神力を養い、研鑽を図ることなどを目的として、昭和四七年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良・開発、活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのがゆまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展、充実を遂げ、成果を挙げてまいりました。

しかしながら、火災による死傷者数は依然、高い数値を示しており、また、熊本県水俣市を襲った集中豪雨に伴う土石流災害や、宮城県北部を震源とする大地震の発生など、地域住民の安全を脅かす自然災害等も後を絶たず、地域住民が消防に寄せる期待は、ますます大きくなっています。

参加隊員の皆さんには、本大会において、安全管理に留意の上、これまでの訓練成果を存分に發揮し、所期の目標を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望いたします。

結びに、本日ご列席の皆様のますますのご健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。



祝辞

(財)日本消防協会会長(代理)

杉原 正純



祝辞

宮城県知事(代理)

柿崎 征英



祝辞

消防庁長官(代理)

吉崎 賢介



次期開催地あいさつ
神戸市消防局長
長手 務

(敬称略)



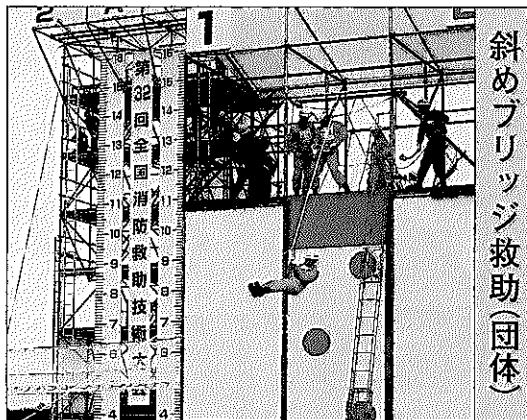
審判長指示
北九州市消防局長
元吉 郁弘



開会宣言・閉会宣言
仙台市消防局長
山内 伸一

◆陸上の部◆

斜めブリッジ救助団体



五人一組(救助者を含む)で、三連はしじを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、救助ロープで斜めブリッジ線を展張して要救助者を救出した後、脱出する。高所から迅速に要救助者を救出するための訓練。

標準所要時間一九〇秒

表彰者

北海道

東北
仙台市局

新発田地域広域事務組合

小山田敏夫
及川邦彦
小林裕己
阿部充宏
林昌一
上野塚澤
塚澤灌
寿治輝保
昌浩

〔東近畿
東近江行政組合

[東海]
西春日井広域事務組合

千葉市局

關東

入間東部地区消防組合

大隅肝属地区消防組合

[四国] 南国市

中國

神戸市局

[近畿]

京都
市局

田中 島中 井中 川中 田中
坂井 中井 中川 田中 倉貢
谷口 德倉 中村 川村 田中
正宗 高昌俊 太平教雄 哲也
和德 雅高 昌正 宗功寿明

長野市(局)
相良町外2町広域施設組合

伊藤
浩史

〔関東〕 加茂地域

北海道
西胆振消防組合
北後志消防組合
北後志消防組合
東北
弘前地区消防事務組合
鹿角広域行政組合
最上広域市町村圏事務組合

表彰者

〔標準所要時間〕一四秒

じごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

[九州]	筑紫野太宰府消防組合	松山市(局)	[四国]	海田地区消防組合	[中国]	柏原羽曳野藤井寺消防組合	[近畿]	大阪市(局)	吹田市	[近畿]	高岡市	金沢市	[東近畿]	高岡市	川端伸治	小原政和	寺島幸司	北浦宏多郎	塙本西野	安原吉嶋	高野尚平	原田秀則
小方金子	梶原	石本	森川	佐々木康博	森川	丸田妹尾内本村中村	谷口水嶋堀内本村	上田羽生田英憲	木村松尾横得	木村濱田貴船	木村	木村	高野尚平	高野尚平	高野尚平	高野尚平	高野尚平	西野英人	安原朋毅	吉嶋尚毅	坂田大志郎	
壽浩文裕	眞之	一幸	矢野	佐々木康博	佐々木康博	田村	内本村中村	辻正昭伸紀	辻隆廣	辻順一	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	辻尚也	川端伸治	

[関東]	さいたま市(局)	[東北]	仙台市(局)	[東北]	水戸市(局)	[東北]	高崎市(局)	[東北]	福島市(局)	[東北]	宮城市(局)	[東北]	岩沼市(局)	[東北]	仙台市(局)	[東北]	秋田市(局)	[東北]	岩手市(局)	[東北]	福島市(局)
東京消防庁	相良	小宮	西川	空岡	相良	安彦	崇	実	樺原	金子	梶原	石本	西岡	西岡	二村	田村	矢野	森川	佐々木康博	佐々木康博	坂田大志郎

◆水上の部◆

複合検索(個人)



マスク、スノーケル、フインを着装し
スノーケリングで障害物(救命浮環)を突
破しながら水中に沈められたりもく立
て検索して、引き揚げる。水中の行方不
明者の捜索を想定した訓練。

[標準所要時間四〇秒]



基本泳法(個人)

[九州]	大分市(局)	[四国]	高松市(局)	[中国]	福山地区消防組合(局)	[近畿]	神戸市(局)	[東近畿]	松任石川広域事務組合	[東海]	鶴岡地区消防事務組合	[東北]	三浦市(局)	[東北]	仙台市(局)	[東北]	福島市(局)	[東北]	岩手市(局)	[東北]	秋田市(局)
大隅肝属地区消防組合																					

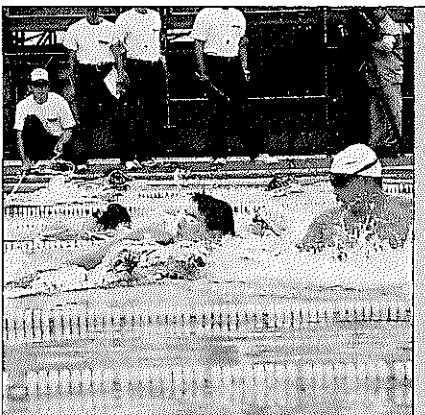
「じゅんか飛び込み」で入水した後、
常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳
法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれ
ぞ「五メートルずつ泳ぐ。水難救助の
基本的な泳法を習得するための訓練。
〔標準所要時間四〇秒〕

表彰者

千葉典智

後藤	大橋	木下	西川	高橋	西口	青石	高橋	西口	青石	高橋	西口	高橋	西川	西川	大橋	木下	後藤	鳥居	石川	竹村	吉成	竹村	吉成	俊吾
利嘉	伸武	幸仁	暢彦																					

溺者搬送(団体)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チップルで確保した後、ヘアーキャリーにより救助する。

[標準所要時間四一秒]

表彰者

[東北] 札幌市局 岡田匡貴 真壁知子 西村友太 遠藤忠信

[関東] 福島市 安房郡市広域町村圏事務組合 鈴木渡辺淹浦大竹鈴木菅原英慶久茂浩剛広良樹慎也正人

[東海] 横浜市局 藤沢市 逗子市

[東海] 名古屋市局 大府市

[近畿] 市川生太郎 長崎蟹江加古裕二文男

[近畿] 武田友紀子 平井清富憲治

[東近畿] 大津市局 中和広域消防組合

[近畿] 茨木市

[近畿] 神戸市局

[近畿] 尼崎市局

[中国] 広島市局

[中国] 宇部市

[四国] 北条市

[九州] 佐賀広域局

[九州] 熊本市局

[北海道] 札幌市局

[東北] 鶴岡地区消防事務組合

[東北] 東京消防庁

[東海] 名古屋市局

[近畿] 京都府市局

[近畿] 新居浜市

[近畿] 吴市局

[近畿] 神戸市局

[近畿] 安房郡市広域町村圏事務組合

[近畿] 八代広域行政事務組合

[近畿] 大津市局

[近畿] 枚方寝屋川消防組合

[近畿] 甲斐米村岡田正成猛彦之浩

補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

[標準所要時間七三秒]

表彰者

[北海道] 札幌市局 佐々木智洋 高橋中澤和史

[東北] 鶴岡地区消防事務組合 伊藤眞壁阿部孝一

[東北] 東京消防庁 佐々木智洋 高橋中澤和史

[東海] 名古屋市局 佐々木智洋 高橋中澤和史

[近畿] 京都府市局 佐々木智洋 高橋中澤和史

[近畿] 守口市門真市消防組合 神保雅聰 竹内豪一

[近畿] 京都府市局 神谷尚樹 中川恭太

[近畿] 京都府市局 上野赤尾 須田泰由

[近畿] 京都府市局 恒松雄一郎 上野健一

[近畿] 京都府市局 吉本泰地 大橋史明

[近畿] 京都府市局 吉田正平 大輔健一

[近畿] 京都府市局 丸山下野吉田正平

[近畿] 京都府市局 小野森山吉田利幸

[近畿] 京都府市局 戸田和孝

[近畿] 京都府市局 甲斐和孝

[近畿] 京都府市局 石井和司

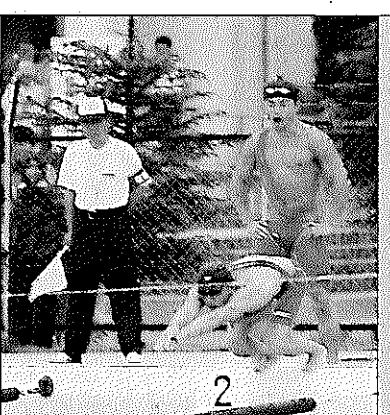
[近畿] 京都府市局 甲斐和司

[近畿] 京都府市局 甲斐和司

[近畿] 京都府市局 甲斐和司

[近畿] 京都府市局 甲斐和司

水中捜索(団体)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「五やい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれ。それ指定された三種類のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

[標準所要時間一一〇秒]

表彰者

[東北] いわき市 村上空岡 鈴木中軍

[東北] 東京消防庁 鈴木中軍

[東近畿] 大津市局 黒島吉田小林野中伸宗孝

[近畿] 茨木市 平井清富

[近畿] 神戸市局 慎法康範

[近畿] 尼崎市局 東口憲治

[近畿] 広島市局 堀田剛史

[近畿] 宇部市 津元千秋

[近畿] 北条市 宮田博範

[近畿] 山口市 松原慎也

[近畿] 福田市 今村博文

[近畿] 熊本市局 義久

[近畿] 佐賀市 竹内豪一

[近畿] 佐賀市 神保雅聰

[近畿] 佐賀市 竹内豪一

[近畿] 佐賀市 神保雅聰

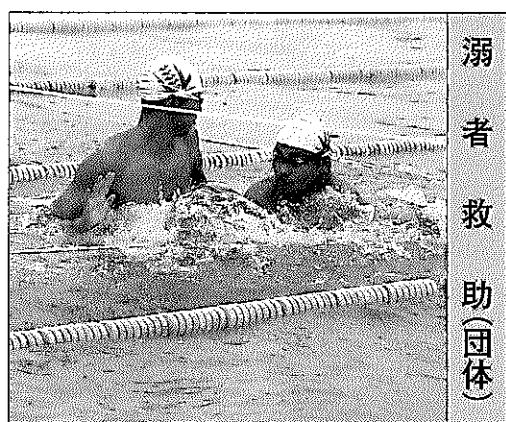
神戸市局

【中国】
笠岡地区消防組合

有田	達洋
阿部	浩二
小松	康範

【九州】
人吉下球磨消防組合
長崎市局

上田	原田
森	古山
野口	辰也
井川	弥久
中川	哲也
憲一	卓真
雅彰	博文



三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をブール内へ投下して救助者が二〇メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四三秒】

表彰者

札幌市局
二瓶
中澤祐介
高橋崇
和史

鶴岡地区消防事務組合

【東北】

水中検索救助(団体)

佐々木智洋
五十嵐昌宏
鈴木俊
行弘
吉成
新開
竹村
立山
神澤島
日下部
太田
梶浦
平田
箕浦
松尾
奥野
高見浩
谷本
吉田
笠松
前田
香西
高見浩
小西
辰哉
義朗
征治
成範
知展
征創
信彦
義仁
英伸
義猛
俊幸
正裕
元一
崇
真吾

【関東】
越谷市

横浜市局

【東海】
名古屋市局

岐阜市

【近畿】
枚方寝屋川消防組合
大津市局

神戸市局

【中国】
吳市局

【四国】
大川広域

神戸市局

大野	仁夫
上村	繁徳
松岡	あゆお
木村	中本
倉田	洋一
木村	登真自
高見浩	一郎
吉田	征治
笠松	成範
前田	辰哉
香西	義朗
谷本	知展
高見浩	征創
奥野	信彦
高見浩	義仁
梶浦	英伸
平田	義猛
箕浦	俊幸
松尾	正裕
奥野	元一
高見浩	崇
梶浦	真吾

【標準所要時間一〇二秒】
四人一組で第一泳者者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。



表彰者

【東近畿】
京都牧市

【東海】
横須賀市局

【関東】
さいたま市局

【東北】
鶴岡地区消防事務組合

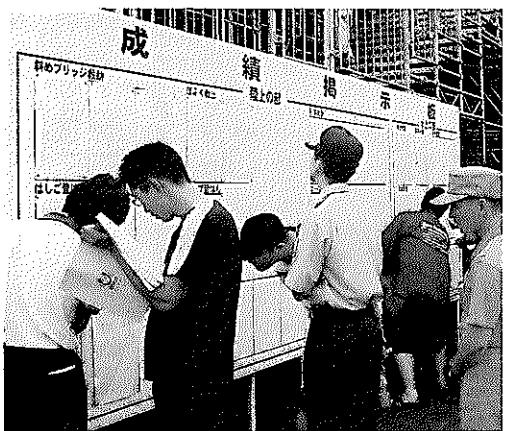
【九州】
人吉下球磨消防組合
高知市局

【四国】
高知市局

【中国】
賀茂広域行政組合

【近畿】
大阪市門真市消防組合
守口市門真市消防組合

佐藤	正和
井崎	健司
小間坂直也	
浦田	
大濱修太郎	
島山裕幸	
吉田泰地	
山川瀬上	
永松大木	
木原克公	
大塚正晃	
西川哲進	
美濃部敏雅	
大塚慎吾	
木原康宏	
村上正晃	
山川賢一	
吉田親央	
泰地達也	
島山裕幸	
吉田國廣	
瀬上賢一	



成	績	録	示	表	示
井口	大塚	中川	西川	木原	木原
西川	中川	井口	大塚	大塚	大塚
木原	木原	木原	西川	西川	西川
克公	克公	克公	哲進	哲進	哲進
慎吾	慎吾	慎吾	正晃	正晃	正晃
井崎	井崎	井崎	大塚	大塚	大塚
伸司	伸司	伸司	木原	木原	木原
直樹	直樹	直樹	木原	木原	木原
英次	英次	英次	大塚	大塚	大塚
藤野	藤野	藤野	西川	西川	西川
松野	松野	松野	木原	木原	木原
野村	野村	野村	木原	木原	木原
藤川	藤川	藤川	木原	木原	木原
木村	木村	木村	木原	木原	木原
佐藤	佐藤	佐藤	木原	木原	木原
伊藤	伊藤	伊藤	木原	木原	木原
秋吉	秋吉	秋吉	木原	木原	木原
山名	山名	山名	木原	木原	木原
友之	秀一	秀一	木原	木原	木原
澄雄	澄雄	澄雄	木原	木原	木原
圭	圭	圭	木原	木原	木原
勉	勉	勉	木原	木原	木原
英士	英士	英士	木原	木原	木原
正和	正和	正和	木原	木原	木原
洋士	洋士	洋士	木原	木原	木原
幸博	幸博	幸博	木原	木原	木原
直樹	直樹	直樹	木原	木原	木原
昌男	昌男	昌男	木原	木原	木原
伸司	伸司	伸司	木原	木原	木原
武	武	武	木原	木原	木原

インタビュー

インタビューの項目

- ① 今回の救助大会を見た感想は?
- ② あなたの持つ消防・救助のイメージは?
- ③ これから消防隊・救助隊に期待することとは?
- ④ 消防に対する意見等があれば、お聞かせください。

◆奥村敦子さん(神奈川県・左端)



◆カーギルさん(パナマ)



◆越智弘美さん(東京都・左側)



- ① 分かった。感動した。
- ② 厳しく規律正しい生活を送っているイメージがある。
- ③ 安全第一で行動してほしいと思つ。
- ④ 安全、確実をモットーにしてほしい。

◆ミカエラ・ゴメスさん(ボリビア)



◆立花秀雄さん(広島県・右側)

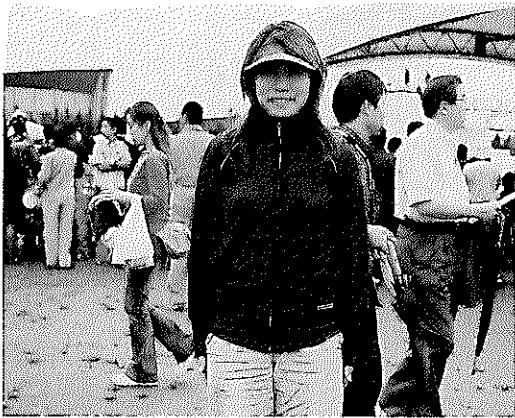


- ① 初めて家族で見に来ました。大会会場が広くて驚きました。日頃の訓練成績に子供たちも感動して見ていました。
- ② 小さな男の子があこがれる職業であり、力強くたくましいイメージです。
- ③ 発展途上国の人々がより安全に暮らせる社会をつくることを手助けするため、日本の消防隊員及び救助隊員の持つ知識や経験を共有してほしい。
- ④ 自らの命を危険にさらし、任務を遂行するために一生懸命働くという強い意志と情熱を持つ消防吏員を、日本はもっと誇りに思つてほしい。消防士たちは規律を守るために最大限の努力をしている。

- ① 訓練種目に対する競争心、情熱、そして無駄のない動きに感動しました。
- ② 一生懸命働く日本の消防士は、自分たちの仕事に貢献し、更にそれを愛し、プライドを持ち、ベストを尽くして働いていると思います。
- ③ 発展途上国の人々がより安全に暮らせる社会をつくることを手助けするため、日本の消防隊員及び救助隊員の持つ知識や経験を共有してほしい。
- ④ 大変よく組織されている。消防救助隊員は訓練され、責任感が強い。彼らは特別なものを持っている。彼らの行動を見ていると、訓練に対して情熱を持って取り組んでいるのがよく分かる。
- ⑤ 消防救助は効率が良く、プロフェッショナルな仕事ぶりである。彼らは何をすべきかよく分かっている。日本の消防は賛賛に値する。

- ① 皆さんのが日頃から一生懸命訓練している様子がよく分かりました。
- ② 命に関わる仕事なので、大変だと思います。
- ③ これからも迅速機敏に人命救助をお願いします。

◆杉下由季さん(愛知県・左側)



① 素晴らしかったです。日頃から消防



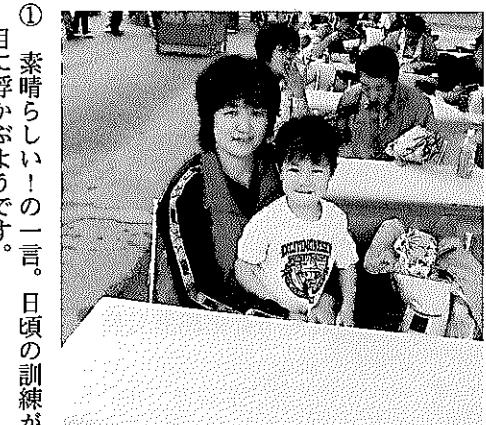
- ① チームワークの良さに感動しました。今後もこの大会を続けてもらいたい。
- ② もつとPRするとよい。
- ③ 困った人を助ける人というイメージです。
- ④ 今までより早く、そして誰でも簡単に身近な感じで救助の仕方を教えていくこと。

◆立花瞳さん(東京都)



- ① 大変盛大な大会だと思います。応援が盛んで仙台市をあげたイベントで、すずめ踊りのとてもかわいい子供たちに感激しました。
- ② 命がけで消防救助にがんばってくれているので尊敬します。
- ③ 日本列島は地震発生がたくさんあるので、常に緊張した消防救助活動を期待します。
- ④ 國際消防救助隊も活躍していることを知りました。ますます世界に羽ばたいて活躍されることを期待します。

◆太田ミドリさん(兵庫県・左側)



- ① 素晴らしい！の一言。日頃の訓練が
- ② 常に市民に対し、がんばっているよ

- ① 消防救助のレベルの奥深さに認識を新たにした。選手の緊張感が応援団にも熱く伝わってきた。
- ② 人命救助のための一刹一秒の迅速な対応が人の命を大きく左右する。
- ③ 地域住民の期待に応えて信頼される消防隊員であつてほしい。
- ④ 常に自己管理を十分に整え、住民の期待に応えるる強靭な体力づくりを望む。

◆川崎久美子さん(宮城県・左側)



◆砂川玄恵さん(沖縄県・右側)



- ① 大会のレベルの高さ、種目をこなす

- ① 消防局から企画についての参加依頼があり、私達大学生の発想等をどれだけ反映できるものかを試してみようと思った。
- ② 親しみやすい。命がけの仕事なので、すごく勇気があると思う。
- ③ 速かな救助・消火・救急活動。
- ④ 消防関係のイベントがあれば、できる限り協力していくたい。

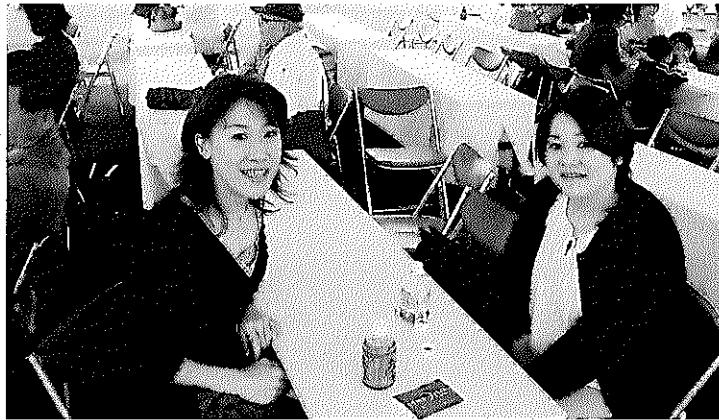
◆コロネルさん(ワルグアイ)

うに思えます。危険と隣り合わせなのに、すべてにおいて一生懸命ですごい。

◆斎藤智賢さん(宮城県・右側)



① 日頃どのような活動をされているのかよく分からなかつたので、この大会を見て消防士の方々の仕事が身近に感じられました。
 ② 体を張って、命がけの危険な仕事を多くの人命を救助してください。
 ③ これからも身近な存在であるよう頑張つてください。



◆ 渡辺蘭子さん(宮城県・左側)
 ② プロとして献身的に仕事をしており、世界の消防の良い手本になると思う。
 ③ 日本の高い技術や知識、任務を行う能力を他の国に提供し、ウルグアイにも指導に来ていただきたいです。
 ④ 日本の消防士の活動はプロとしての意識が高く、素晴らしいと思います。

これまでの大会経過

これまでの大会経過

- 第1回 昭和47年9月28日 東京都 豊島園
- 第2回 昭和48年9月21日 大阪市 扇町公園
- 第3回 昭和49年9月18日 横浜市 県立保土ヶ谷公園
- 第4回 昭和50年9月10日 東京都 平和島公園
- 第5回 昭和51年9月10日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第6回 昭和52年8月18日 横浜市 消防訓練センター
- 第7回 昭和53年8月22日 千葉市 県消防学校
- 第8回 昭和54年8月24日 大阪市 消防学校
- 第9回 昭和55年8月29日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第10回 昭和56年8月19日 横浜市 消防訓練センター
- 第11回 昭和57年8月19日 横浜市 消防訓練センター
- 第12回 昭和58年8月19日 大阪市 大阪城公園・消防学校
- 第13回 昭和59年8月24日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第14回 昭和60年8月23日 広島市 中央公園・県立屋内プール
- 第15回 昭和61年8月22日 神戸市 市民防災総合センター・神戸王子プール
- 第16回 昭和62年8月21日 千葉市 県消防学校

- 第17回 昭和63年8月19日 横浜市 消防訓練センター
- 第18回 平成元年8月25日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第19回 平成2年8月24日 広島市 中央公園・ファミリープール
- 第20回 平成3年8月28日 大阪市 消防学校
- 第21回 平成4年8月28日 千葉市 県消防学校
- 第22回 平成5年8月20日 福岡市 アジア太平洋センター建設用地
県立総合プール
- 第23回 平成6年8月25日 京都市 消防学校
- 第24回 平成7年8月25日 北九州市 北九州市文化記念公園
- 第25回 平成8年8月23日 札幌市 札幌市消防訓練場・札幌平岸プール
- 第26回 平成9年8月22日 千葉市 県消防学校
- 第27回 平成10年8月28日 大阪市 消防学校
- 第28回 平成11年8月19日 横浜市 消防訓練センター
- 第29回 平成12年8月18日 熊本市 市総合屋内プール(アクアドームくまもと)
- 第30回 平成13年8月8日 東京都 豊洲訓練場・辰巳国際水泳場
- 第31回 平成14年8月23日 名古屋市 消防学校

大会ダイジェスト





本
部
高

第22号

平成15年9月25日発行

編集
発行 (財) 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区飯田橋3-11-13
(飯田橋豊國ビル) 電話03(3234)1321(代)

PRINTED WITH SOY INK

R100